

情 報 公 開 文 書

研究の名称	がん遺伝子パネル検査における検査前面談介入による検査実施数と検査後治療到達率の変化の検討
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・職名および氏名）	富山大学附属病院 腫瘍内科・緩和ケア内科 助教 中村 直彦
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 富山県内で固形癌に対する治療を受けている患者さんを対象に遺伝子パネル検査についての情報提供を面談にて行います。また、過去に本院で遺伝子パネル検査を受けられた患者さんのカルテデータと比較することで、この面談による遺伝子パネル検査の検査数の変化や本検査結果に基づく治療への到達率の変化を検討します。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2031 年 6 月 30 日 【研究対象者】 2019 年 10 月 1 日～2026 年 6 月 30 日に当院で固形癌に対し遺伝子パネル検査を受けた患者さん 【研究資金、利益相反の状況】 本研究の実施には、腫瘍内科・緩和ケア内科講座の医局・講座費を使用します。本研究に関係する企業等は存在しないため、本研究において申告すべき利益相反は存在しません。 【個人情報の取扱い】 情報を取得した後は、氏名、診療録 ID 等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工します。加工された情報はパスワードロックによりアクセスが制限されたパソコンで管理します。本研究に関する情報等は研究結果の最終公表後から 10 年間保管し、紙媒体の裁断または電子ファイルの消去により復元不可能な形で廃棄します。 【研究結果の公表の方法】 本研究の概要を公開データベース（UMIN-CTR）に研究実施に先立って登録・公開し、研究計画書の変更および研究の進捗に応じて適宜更新し、研究の終了についても遅延なく報告します。本研究成果は日本臨床腫瘍学会総会または医学雑誌で公開する予定です。 【試料・情報の他機関への提供有無】 無
②利用又は提供する試	

料・情報の項目	【試料・情報の項目】 カルテ上の患者情報、検査結果を使用します。
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 実施許可日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	電子カルテ上より情報を取得します。
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 腫瘍内科・緩和ケア内科 中村 直彦
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076－434－7808 FAX：076－434－5112 E-mail：naohiko@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：腫瘍内科・緩和ケア内科 中村 直彦